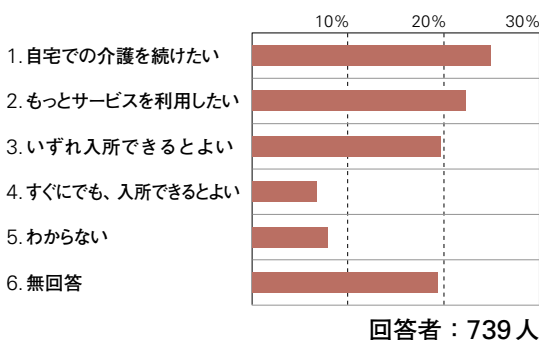


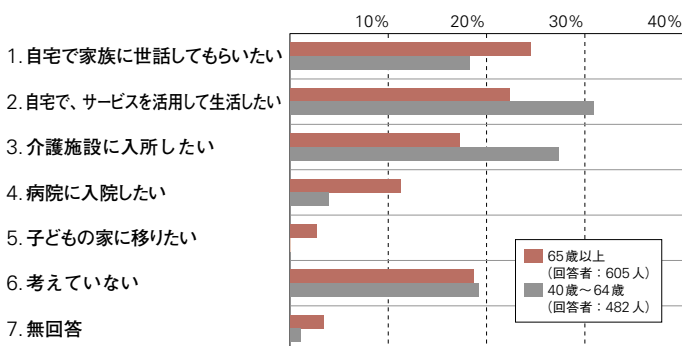
### 問3 介護者の方の今後の意向



結果 今後の介護者の希望としては、「このまま自宅で介護を続けたい」「もっと介護サービスを利用したい」が、合計46・7%で、半数近い方が自宅での介護を希望しています。「すぐにでも入所できるとよい」とする施設入所希望の方は、6・5%で、なるべくなら住み慣れた自宅で介護を続けたいと思っている方が多いことがわかります。

問3 実際に介護をしている方にお聞きします。今後、どのように介護を続けたいとお考えですか。

### 問4 将来、要介護認定を受けた場合の意向



結果 自分が将来、要介護認定を受けた場合に、40～64歳の若年層の方で、「介護施設に入所したい」と考えている方が多いことがわかりました。このことから、将来、介護施設の需要が高まること予想されます。

問4 要介護認定を受けていないすべての方にお聞きします。将来ご自分が介護が必要になったら、どのように介護されたいとお考えですか。

### 問5 入所前に待機した期間

項目	回答者	割合
1. 待機しなかった	32	13.3%
2. 3か月未満	42	17.4%
3. 半年未満	25	10.4%
4. 1年未満	37	15.4%
5. 1年以上	53	22.0%
6. わからない	50	20.7%
7. 無回答	2	0.8%
合計	241	

### 施設の場所

所在地	回答者	割合
県内	市内	190 78.8%
	市外	48 19.9%
県外	2	0.8%
不明	1	0.4%
合計	241	

結果 施設に入所している方の約8割は、市内の施設を利用しています。また、入所するのに待機しなかった方はわずか13・3パーセントで、22・0パーセントの方が1年以上待機した後に入所しています。

問5 現在、施設に入所されている方にお聞きします。この施設に入所していませんか。また、入所するのに待ちましたか。

蒲郡市内には5カ所の介護保険施設がありますが、入所待機者が非常に多い状況です。特に介護老人福祉施設で待機者が多いのですが、待機者の中には将来に備えての申込者もあり、軽度の認定者の方でも「待っている人が多いから、早めに申し込んでおかないと」と申し込みをし、いざ入所できる順番がきても「まだ自宅で生活ができるから」と入所を見送るケースも少なくありません。待機者が多いという不安感から、さらに待機者を増やすという悪循環になっているのです。

また、市の介護給付額についても、施設への給付金が全体の5割近くを占めています。これは、在宅の要介護者に比べ、施設入所者には約3倍ものサービス費用がかかるためです。したがって、待機者を減らすために、施設をつくれれば介護保険の問題が解消されるとは限りません。

今後は、要介護認定者数に対する介護施設の適正な設置数を検討しながら、在宅介護サービスの更なる充実を目指し、介護保険制度の改正に取り組んでまいります。